

この通信の著作権は妻中学校が有します。無断で文章・画像などの転載を禁じます。

# 一学期が終了しました！



7月19日(金)、一学期の  
 終業式を行いました。中体  
 連県大会前ということもあ  
 り感染症予防のため、各学  
 級や特別教室へ向けたオン  
 ライン開催としました。  
 恒例の振り返り対話では  
 代表生徒たちが「夏休みは  
 料理で家族に貢献したい」  
 「8月に終戦記念日もある  
 が世界には戦争をしている  
 国もあるので、当たり前  
 の平和に感謝して過ごした  
 い」「修学旅行では東京の便  
 利さと同時に自然豊かな宮崎  
 の良さに改めて気付けた」など



1学期の振り返り(対話形式)

の意見が述べられました。  
 西都中開校に向けた話し  
 合いに参加した一年生から  
 は「多くの人と対話したこと  
 で考えが180度変わった」。校  
 則改正に向けては「自分達で  
 改正して守る自律型の校則  
 にしていきたい」等の、成長  
 を感じる意見もありました。  
 また、生徒会執行部からは、  
 夏休み中、高い意識で行動し  
 ていくための心構え「夏休み  
 のチャレンジ宣言」が述べら  
 れました。生徒たちの主体  
 性や前向きな姿勢が感じら  
 れるようになった妻中です。



生徒会による「夏休みのチャレンジ宣言」

# 妻中デジタルアクションプラン策定！



今度先生の授業を全クラスに配信

本校ではデジタルシテイ  
 ズンシップ教育に取り組  
 み始めています。7月2  
 日は、日本の第一人者・  
 今度珠美先生にお越し  
 いただき全学級をオンライ  
 ンで結んでの特別授業を  
 行いました。「デジタル足  
 あと」と題し、SNSを  
 使う主体者としての責任  
 の大きさを考える授業で  
 した。ご存じのようにS  
 NSには様々なリスクが  
 ありますが、これからの  
 高度情報化社会で活躍して

いくには「危ないから使わ  
 ない」という考え方だけで  
 なく「正しく責任をもって  
 積極的に使っていくスキ  
 ル」も大切です。この授業  
 も踏まえ、生徒会のスタ  
 ッフが、今年の生徒総会  
 で考えた「妻中デジタル  
 アクションプラン」を策定  
 し、7月19日に全校生徒  
 へ周知しました。夏休み  
 期間中こそSNSの使用頻  
 度は上がると思います。新  
 時代のデジタル市民として  
 しっかり利用していこう。

## 妻中デジタルアクションプラン

- ①デジタル機器の使用時間について…使用時間を決めて、勉強や自主練なども行おう。優先順位に合わせ自分で決めよう。
- ②投稿にコメントする時は…個人情報が出ないようにし、人が嬉しくなるようなポジティブコメントをしよう。
- ③オンラインゲームで交流する時は…相手の気持ちを考えて、嬉しい言葉や行動をしよう。

# 共創ワークショップを開催しました！

新・西都中学校の「スクールコンパス（これまでの校訓に相当）」を創るための共創ワークショップが7月9日に妻中で行われました。九州大学の伊東栄典先生、本校宮崎や宮崎大学の中山隆先生にお越しいただき、小学6年生や中学生の代表、高校生や大学生、教職員、地域の方々など約60名が集まり、対話型のワークショップが行われました。今回出された意見をもとにどんなコンパスが出来るか楽しみます。



# 絵を寄贈していただきまました！



7月16日、故・弥勒祐徳（みろくすけのり）先生の絵を3枚ご寄贈いただきました。先生は西都市内のギャラリー「夢たまたま」に本校生徒の絵画展を開催され、折に本校生徒の絵画展の見学に訪れたことがきっかけとなり、弥勒先生の息子が猛様より寄贈の申し出があり、今回の寄贈となりました。弥勒さんと竹下健さんが直接学校に絵をご持参してくださり、ご寄贈くださいました。今後は、生徒や保護者、来客の方々から日常的に目にするので、展示したいと考えております。

中央の絵「西都原の桜」(126cm × 126cm)  
 左の絵「日向国分寺・五智如来像」(63cm × 50cm)  
 右の絵「妻線・最後の列車」(63cm × 55cm)

## 三真の轍 わたち

**西都原考** 先日、西都原考古博物館の開館20周年式典に参加させていただく機会を得ました。妻高校吹奏楽部の素晴らしい演奏が式典に花を添える中、河野知事臨席の下、本館の歴史を振り返る講話を拝聴することができ、改めて西都原の魅力に感じ入りました。▼西都原の本格的な発掘が始まったのは大正元年だそうで、女狭穂塚すぐ西にある3段築成の円墳170号墳から出土した重要な

文化財の埴輪船（左絵）や埴輪子持家などご存じの方も多いと思います。ただ、登壇者や専門家の方々が異口同音に述べられる西都原最大の魅力は「昔とほぼ変わらない豊かな自然環境と歴史的・文化的景観の調和」なのだそう。西都原古墳群内の道路は不規則なカーブを描いていますが、それもまた景観を損ねないための配慮なのだそう。確かに九州最大の前方後円墳・女狭穂塚は雑木林のようにも見えますし、考古博物館の先代・西都原資料館は半地下で造られていたことを記憶されている方も多いと思います。▼本校三年生の「さいと学」では、今年、西都原古墳群や西都原考古博物館の魅力を探究し、それをPR動画にまとめてくれたグループがありました。また一年生でも、西都原古墳や日本遺産、記紀の道などの魅力を追究するグループがありました。本市の子どもたちが、太古より継承されてきた貴重な日本遺産の魅力を再発見・再認識してくれることを嬉しく思います。

(校長 伊東泰彦)

